



人は いつも見ているものに 心は似てくるもの

私はこれまでに会った先生方から多くのことを学ばせてもらいました。その中のお一人、とてもお世話になっていた方に教わった言葉です。ふとこの言葉が思い浮かぶできごとがあり、先日の全校朝会（放送朝会）で、子ども達に次のような話をしました。

今朝は先週とっても素敵な場面を目にしたので、その話をします。

2階廊下を歩いていたら、4年生が図工の学習をしていました。ちょうど後片付けの時間で、水彩道具をみんなが洗っていました。僕が通りがかった時、手洗い場の床が水しぶきでぬれていました。

すると、そのことに気づいたある男子が、そうきんを持ってきて、その床を1人で拭き始めました。続いて、3人が同じように雑巾で拭き始めました。

みんなのために、気づいてすぐに行動したこと。自分の判断ですすんで行動したこと。素晴らしいと思いました。

さて、僕の好きな言葉に「人は、いつも見ているものに心は似てくるもの」という言葉があります。

「心を磨く」とか「心をきれいにする」とよく言われますよね。でも、実際には、心を取り出して磨くわけにはいきません。だったら磨けるものを磨く。目に見えるところを磨く。目に見えるところをきれいにする。すると、自分できれいにした場所を見た自分の心もきれいになる。心が磨かれる。という話です。

「人は、いつも見ているものに、心は似てくるもの」。ということは、いつも、ゴミだらけの汚い環境にいる人は、心の中も汚れた状態になるということです。

掃除時間に、自分の掃除場所を黙々と一生懸命きれいにする姿、廊下を何往復も雑巾掛けする姿、そして、今朝の話のように汚れていた場所を進んできれいにする姿。立派だと思います。

目に見えるところをきれいにすることで、きっと心もきれいになる。心が美しい人になっていくと思うのです。



子ども達の頑張りを、素敵な言葉を添えて全校に伝えていく。これからも続けていけたらと思っています。

*** 卒業後の新生活に向けて ***

2月5日午後、本校で、久米中、東中、西中の学校説明会がありました。例年、この時期に6年生が中学校を訪れて、体験授業や説明会に参加するのですが、今年度は感染予防の関係で保護者説明会のみが行われ、児童の参加はありませんでした。代わりに、小学校で児童への説明会をしてくださったというわけです。

作成していただいた学校紹介 DVD を視聴したり、来校された先生の説明を聴いたりしました。学習や生活のこと、部活動、行事、生徒会活動など、自分が進学する学校について様々なことを知ることができ、貴重な 45 分間でした。説明して下さった先生方、そして DVD に登場していた生徒達、大変お世話になりました。ありがとうございました。



〈メディアルーム〉

DVD 視聴後、学校紹介資料や校長先生からのメッセージを読んでいます。



〈6A 教室〉

校訓や学校生活のきまりなどについて、ていねいな説明を聴いています。



〈6B 教室〉

学校行事などの紹介映像を見ながら、熱い思いのこもった解説を聴いています。

*** 新しく入学してくる仲間たちへ ***

同じ頃、体育館で行われたのは、新入児入学説明会でした。こちらも例年のような体験入学は実施せず、保護者のみの参加となりました。



開始前、5年生が前に並びました。体験入学ができなかった新入児たちに、少しでも安心して入学してもらおうと、贈り物（メッセージカードとメダル）を5年生みんなで作ったことを代表児童が話しました。

その後一人ひとりが保護者の皆様の前に移動し、ひとこと言葉を添えて、手渡しました。



社小の新しい仲間たちへの心温まる贈り物。思いを伝えながら手渡す姿。見ていて嬉しくなりました。次のリーダー学年も頼もしいです。

ICT環境整備がすすんでいます

3年生以上の児童に一人一台のタブレット (iPad) が配置されました。教室には保管庫が登場。徐々に学校での利用を開始します。



おしらせ

本日各家庭へ「単年度ごとの学級編成」についての文書(別紙)を配布いたしました。ご一読いただき、ご理解いただければありがたいです。